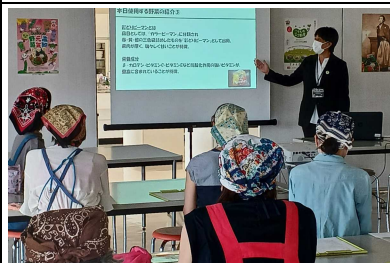


普及活動情勢報告（令和５年９月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

産地マーケティング支援！ ～神戸市で「れいほく八菜」PR～



「れいほく八菜」の特徴や簡単な調理法を紹介する普及指導員

８月２４日、ＪＡ高知県れいほく園芸部会は、園芸部長およびＪＡ職員２名、普及所職員１名が出向き、神戸市中央卸売市場「魚果菜（ととかな）塾」の料理教室で「れいほく八菜」のＰＲを行いました。

神戸市内のレストランシェフが講師となり、「れいほく八菜」の土佐甘とう、米なす、彩どりピーマンを使ったイタリアン料理を消費者１７名が調理しました。調理実習前に、ＪＡからは天敵昆虫等の活用やＧＡＰの取組など環境に配慮した栽培方法を、普及所からは各品目の特徴等を紹介しました。

参加者からは「高知の野菜は新鮮で美味しい」「嶺北に行ってみよう」等の声が聞かれました。

今後も普及所は、栽培技術向上支援とともに消費宣伝等の園芸部会活動を支援していきます。

担い手確保の取り組み ～担い手育成センター研修生視察～



生産者の話を熱心に聞く研修生

９月４日、高知県担い手育成センターから花き栽培に関心のある研修生が２名、嶺北地域の花き生産者のほ場を訪れ、２名の生産者のほ場を確認しながら意見交換を行いました。

研修生らはユリや草花類などを見ながら、栽培や経営のポイント、今後の展望について学びました。普及所からは、生産者の就農の経緯や嶺北地域の花き生産の特徴などの説明を行いました。研修生からは「栽培のポイントや今後の経営の方向について勉強になった」といった声が聞かれました。

今後も普及所は、担い手確保の取り組みを行い、嶺北地域の花き産地の維持・拡大に向けて支援していきます。

今年もこの時期がやってきました ～水稻採種ほ審査～



審査する普及指導員

９月５日と７日に、普及所はれいほく営農経済センター、農畜産部米穀課等の協力のもと、計２２人で田井採種組合１１戸、相川採種組合７戸のほ場審査を実施しました。審査では、異品種の混入や病虫害及び雑草の発生状況について調査し、最終的な可否を生産者に伝えました。

生産者からは「低温が続いたことから刈取りは例年より遅れるかもしれないが、生育は順調。ただ、稲こうじ病の対策が難しく、今後さらに増えてきそうで心配」との声がありました。

今後も普及所は、関係機関とともに、優良種子の生産に向けて支援していきます。

今年の酒米の収穫適期を見極める！

～「土佐酒造酒米生産者組合」現地検討会～



「吟の夢」の収穫適期を
助言する普及所職員

9月8、10日、本山町および土佐町で特別栽培「吟の夢」の現地検討会が開催され、生産者、土佐酒造及び普及所が参加しました。

普及所からは、ウンカ等への注意喚起を行うとともに、収穫適期を判断するポイントを説明しました。その後、参加者全員のほ場を巡回し、出穂後日数と籾の黄熟度を確認しながら、適切な収穫時期や注意点を参加者と一緒に検討しました。

生産者は「お酒を作る際に重要となる心白を上手く入れるにはどうしたら良いか」など、今後の作業について熱心に情報交換していました。

今後も普及所は、良質な酒米生産に向けて支援していきます。

ユリの葉焼けの発生要因の検討 ～環境測定実証ほの設置～



調査ほを設置する
普及所職員

9月14日、普及所は葉焼け発生要因の解明と発生の低減を目的にハウス内環境の測定を行う調査ほを設置しました。

嶺北地域でも葉焼けの発生によりユリの品質低下が起きています。普及所は、環境測定装置や、モニタリングを行うカメラのデータを確認しながら、葉焼けの発生要因を調査しています。実証農家からは「葉焼けの対策ができれば品質向上に繋がる」「ハウス内データを栽培管理に活用したい」などと言った声が聞かれました。

今後も普及所は、ユリの高品質、安定生産に向けて支援していきます。